



平成28年3月31日

各 位

会社名 中越パルプ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 明美
(コード番号3877、東証第1部)
問合せ先 管理部長 荒屋 英治
(TEL. 0766-26-2404)

セルロースナノファイバー第一期商業プラント建設のお知らせ

当社は、次世代先端技術として世界的に注目を浴びているセルロースナノファイバーのサンプル販売を平成25年3月より開始し、顧客との意見交換を継続してきましたが、今般量産化の目途が立ちましたので、総額12億円を投資する第一期商業プラントの建設を決定いたしました。今後、セルロースナノファイバーの市場拡大に応じて、順次設備増強を計画してまいります。

当社製造のセルロースナノファイバーは、九州大学の近藤 哲男教授が発明した“水中対向衝突 (ACC : Aqueous Counter Collision) 法”をもとに、パルプと水のみから製造した環境配慮型の製品であり、機能性として高吸着性・高強度・透明性・寸法安定性・低線熱膨張等に加え、両親媒性の特徴を備えています。また、自社パルプより製造した一貫製造品のため、原料となるパルプも針葉樹や広葉樹にとどまらず、特に他社にはない特徴として国産竹も選択が可能です。

当社の長年にわたるパルプ製造ノウハウを活かして、様々なセルロースナノファイバーを販売してまいります。

【設備概要】

生産能力：年間約100トン（樹脂複合化用）
稼働予定：平成29年4月
設置場所：当社川内工場（鹿児島県薩摩川内市）
投資総額：約12億円

以上